



地理 第1回

世界の地形 ～大地形～



世界の地形

造山活動
造陸活動
火山活動など

①大地形

地球内部の圧力(内的営力)により形成された地形

例.山脈,プレート,大陸,海洋など

雨水,風,氷食
河川の堆積など

②小地形

侵食や風化、堆積などの作用(外的営力)によりできた地形

例.平野,海岸,氷河地形など



大地形について (1)プレート境界

湖沼や火山を形成
別名グレートリフトヴァレー

- ① 広がる境界 → **地溝** (例. アフリカ大地溝帯, ギャオ)
海嶺 (例. 大西洋中央海嶺)

大西洋中央海嶺が
アイスランドで陸地
に表れたもの

- ② 狭まる境界 → **弧状列島** (例. 日本, ニューゼーランド)
褶曲山脈 (例. ヒマラヤ山脈, アルプス山脈)
海溝 (例. 日本海溝, チリ海溝)

東日本大震災は
海溝型

プレートが
沈み込むところ

- ③ ずれる境界 → **横ずれ断層** (例. サンアンドレアス断層(米))

阪神淡路大震災は
横ずれ断層



大地形について (2)大地形の分類

地殻運動が停止
→侵食により平坦化

①安定陸塊

- ・先カンブリア時代(5.4億~4.6億年前)に形成
- ・**卓状地**→長期の侵食により古い地層が露出した平坦な地域
(例.カナダ楯状地,バルト楯状地,
ブラジル楯状地,オーストラリア楯状地)
- ・**楯状地**→古い地層の上に新しい地層が堆積して
台地や平原になった地域
(例.シベリア卓状地,ロシア卓状地)
- ・鉄鉱石が産出されやすい(1位=オーストラリア,2位=ブラジル)



大地形について (2)大地形の分類

②古期造山帯

- ・古生代(4.6億~2.5億年前)に形成
- ・古生代以降の侵食作用によりなだらかな山に
- ・例. **アパラチア山脈**(米), **ペニン山脈**(英),
スカンジナビア山脈(ノルウェー・スウェーデン)
グレートディヴァイディング山脈(豪), **ウラル山脈**(露),
ドラケンスバーグ山脈(南アフリカ)
- ・**石炭**が産出されやすい(1位=中国)

山脈が国境
になっている

これより西が
ヨーロッパロシア



大地形について (2)大地形の分類

③新期造山帯

- ・中生代以降(2.5億年前～現在)に形成
- ・高度や起伏が大きく、地震や火山活動が活発
- ・**アルプス=ヒマラヤ造山帯**

アフリカの
北は新期、南は古期

(例.ピレネー山脈, アルプス山脈, アトラス山脈, パミール高原,
フランス スペインの国境 脈, チベット高原, インドネシア)

世界の屋根

- ・**環太平洋造山帯**

(例.アンデス山脈, ロッキー山脈, カムチャッカ半島, 日本, 台湾,
フィリピン, ニューギニア島, ニュージーランド)

